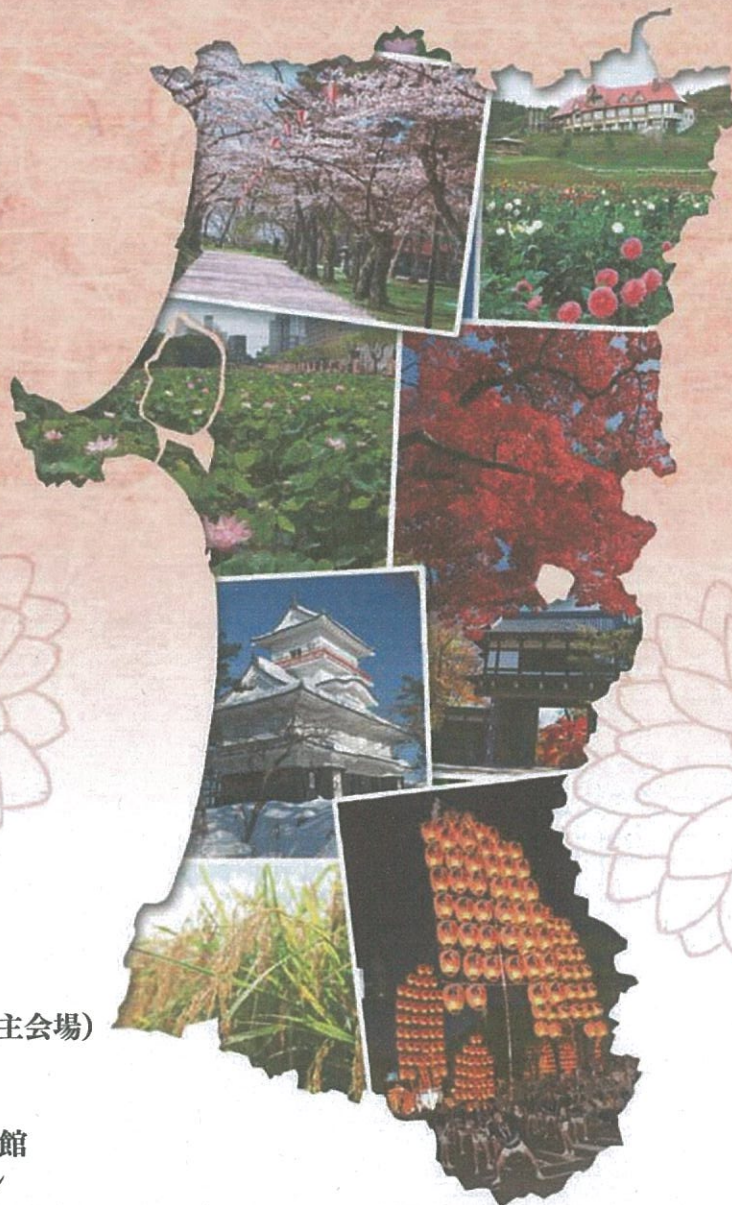


日本女性会議 2016 秋田

2016.10.28 fri - 29 sat - 30 sun

みつめて みとめて あなたと私 ~多様性(ダイバーシティ)とは~



会場

秋田県民会館(主会場)

ジョイナス

アトリオン

秋田市にぎわい交流館

秋田キャッスルホテル



日本女性会議
2016 秋田

平成28年
10月28日(金)

13:30 開会アトラクション

13:45 開会式

14:10 基調報告

15:00 記念講演

17:30 交流会

10月29日(土)

9:30 分科会

13:00 分科会報告

14:15 シンポジウム

16:00 閉会式

10月30日(日)

エクスカージョン

主催:日本女性会議2016秋田実行委員会、秋田市 共催:秋田県

日本女性会議 2016 秋田 参加レポート

目黒女性団体連絡会 ウイメンズめぐろ 奥山利子
目黒母親連絡会 吉田啓子

日本女性会議 2016 秋田 テーマ

みつめて みとめて あなたと私～多様性(ダイバーシティ)とは～

大会テーマには、さまざまな思いや考え方の違いを尊重して受け入れ、性別や年齢、職業、国籍、障がいなどをこえて、一人ひとりが安心してありたい姿でいることができる、多様性をみとめる社会をつくるため、いま、行動したいという思いがこめられています。

*作者: 中鉢 美之 (びーらぶ秋田代表/婦人相談員)

開催日時: 平成28年10月28日～30日

開催場所: 秋田県民会館、秋田キャッスルホテル、秋田市にぎわい交流会館
アトリオン、ジョイナス

日本女性会議について

日本女性会議は、国際婦人年(1975年)とそれに続く「国連婦人の10年」を記念して、1984年に名古屋市で第1回大会が開催されました。

以来、男女共同参画に関する国内最大の会議として30年以上にわたり、男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流やネットワーク化を図ることを目的に各都市で開催されてきています。

大会プログラム

1日目 10月28日

会 場:【秋田県民会館】

開会アトラクション: 竿燈演技

開会式: 主催者あいさつ

大会会長 秋田市長 穂積 志 (ほずみ もとむ)

実行委員会委員長 秋田大学大学院医学系研究科教授 中村 順子 (なかむら よりこ)

: 祝辞

秋田県知事 佐竹 敬久 (さたけ のりひさ)

秋田市議会議長 渡辺 正宏 (わたなべ まさひろ)



基調報告：「男女共同参画施策の現状と今後の課題について」 (8 ページ～参照)

内閣府男女共同参画局長 武川恵子

記念講演：「違いこそが個性を作る、自信を作る、魅力を作る」(11 ページ参照)

講師/ 藤原美智子 (ふじわら みちこ)

ラ・ドンナ主宰 ヘア・メイクアップアーティスト/ ライフスタイルデザイナー

会 場：【秋田キャッスルホテル4階 放光の間】

交 流 会

前年度開催地ごあいさつ： 岡山県倉敷市

次年度開催地PR：北海道苫小牧市

アトラクション：和太鼓パフォーマンス



☆☆☆☆☆

今日一日を終えて・・・

今年は、春に男女平等・共同参画において、いつも前を照らしてくださった先輩が、亡くなりどうしたものかと態度を決めかねていたところ、今回の参加依頼があり、これもタイミングかなと思い、参加する事になりました。

目黒から新幹線で約4時間半。御一緒した吉田さんとお互いの活動や、日頃の思いなどを話しているうちに秋田駅に着きました。

駅から会場までは、のぼり旗のお出迎え、関係者の皆さんのご期待に添えるようにしっかり学ばなくては・・・と会場へ向かいました。

夜の交流会では、地元の郷土料理、きりたんぼ鍋や、稲庭うどん、そして美味しいお酒のおもてなし。秋田の特産物を使ったメニューはどれも美味しかったです。

アトラクションでは、郷土への強いこだわりを持ち、幅広い年齢層にファンをもつ「なまはげ郷神楽」の皆さん。お腹にひびく和太鼓の音。郷土芸能は躍動感と温かさを感じました。



参加者との交流は、土浦商工会議所女性会の方、水戸の男女平等参画を考える会の方、2019年、日本女性会議開催が決定した佐野男女共同参画推進センターの方々と、お話をしました。高齢の方で、『私の年で、当時旅行に行くと言ってもなかなか出してもらえなかった。でも、日本女性会議に行ってきます。と言えば出してもらえた。それからは、12回参加していますと。吉田さんと顔を見合わせてびっくり。

私もこれからはどなたかお誘いしてぜひ参加しようと思いました。明日はしっかり学んでいこうと・・・

記録 奥山

2日目 10月29日 (午前の部) 分科会 1～10会場に分かれて

分科会1 人権 【秋田県民会館 大ホール】

《奥山 利子 参加》 (12ページ～参照)

女性たちの今。そして未来をつくる。

女性参政権から70年 雇用機会均等法 から30年

男女がともに社会を支えているにも関わらず、意思決定の場には女性が極端に少なく、性別役割分業意識もなかなか変わらない状況です。個人が尊重され、弱者になっても尊厳をもって生き続けられる社会とはどのような社会なのか、だれもが自分らしく暮らしていける社会をどのように築いていくのか、20代から40代の皆さんの現場の声を交えながら未来を一緒に考えます。

分科会2 女性の活躍 【秋田市にぎわい交流館 多目的ホール】

女性の活躍を進めるために必要なこと、困難なこと

～自分も相手も大切にするアサーティブなコミュニケーション～

女性の社会参加は増えていますが、家庭や職場、地域でも人間関係に傷つき振り回されることもしばしば。このような中で自分も相手も大切にするアサーティブなコミュニケーションを身につけることは女性の活躍を推進していくヒントなのでは？様々な年代、職種の方々のインタビューや寸劇をもとに議論を深めます。

分科会3 女性の活躍 【秋田キャッスルホテル 矢留の間1】

農業の活性化は女性の「農力」から ～6次産業化×情報発信～

農業の6次産業化が進み、生産、加工、流通、販売、交流など女性の活動が多面的に展開されています。こうしたビジネスとしての農業の形は女性自身の自己実現にとどまらず、男性中心に考えられてきた農業のあり方にも影響を与えており、女性の活躍へと期待が高まってきています。女性が農業を職業の選択肢の一つとして考え、活躍できる環境づくりのための課題と展望について話し合います。

分科会4 ワーク・ライフ・バランス 【ジョイナス 小ホール】

イクボスで企業が変わる・社会が変わる！

～少子化・女性活躍時代におけるイクボス式マネジメントのすすめ～

昨今、男女共同参画社会を目指す手法の一つとして、男性の育児参加「イクメン」が定着してきていますが、男性の長時間労働や女性のパートタイム勤務などを背景として、働き方の多様性を広げるには様々な困難があります。このような状況を改善するため、男女がともに働きやすい環境づくりについて、部下と仕事と生活の両立を考え、そのキャリアと人生を応援する経営者や管理職「イクボス」に注目し、企業の事例を通じて議論を深めます。

分科会5 地域づくり 【秋田キャッスルホテル 矢留の間2】

“地域消滅” トップランナー秋田の「今」と「これから」

～そもそも男女共同参画って何？～

少子高齢化社会への対応は全国共通の課題です。しかし人口減少率日本一を抱える秋田県にとって日本創生会議が伝えた「地方消滅」は、現実味を帯びた将来像そのものといっても過言ではありません。県下全自治体へのアンケートやデータで秋田の今を浮き彫りにし、そこから見えてきた課題を解き明かします。

分科会6 地域づくり 【アトリオン 多目的ホール】

地域の魅力を発見、発信

過疎化が進む町で朝市の改革や特産品のPRなど地域おこしに取り組んでいる女性、地域の特産品を見いだして全国に発信している女性など、地域資源を活用した地域づくりを報告し、地域の魅力をいかにアピールしていくのか成功例のみならず悩みや課題も含めて話し合います。

分科会7 子育て 【アトリオン 展示室】

「できるって何？」 ～多様性に対応する秋田の子育て～

秋田の小・中学生は、全国学力テストでトップクラスの成績となっておりますが、「できる」というのはテストで優秀な成績を修めた人だけのことをいうのでしょうか？

子ども達が自分らしく成長していけるよう多様性を育む子育てについて、豊かな自然に囲まれた教育環境と食の視点から、家庭や学校、行政の役割と支援のあり方について考えます。

分科会8 高齢社会 【秋田市にぎわい交流館 展示ホール】

《吉田 啓子 参加》 (16 ページ～参照) (資料は 24 ページ目～参照)

ともに生きる喜びをはぐくむ高齢社会

全国一の高齢化率という課題を抱えている秋田は、日本の将来像を映し出しています。高齢社会の進展とともに、高齢者の単身世帯があたり前の時代となります。孤独感や病気などの深刻な問題に対して、性や年齢、家族形態を超えて、暮らしやすい社会に向けた取り組みを皆さんと一緒に考えます。

分科会9 貧困 【秋田市にぎわい交流館 研修室1.2】

すべての子どもが希望を持ちながら大人になれるように

～ひとり親家庭から見えてきた貧困～

2012年に実施した厚生労働省の調査によると、日本における子どもの貧困率は16.3%、つまり6人に一人の子どもは貧困状態にあります。なかでも、ひとり親世帯の半数以上の世帯が貧困に直面しています。貧困は経済的貧困として捉えられがちですが、関係

性の貧困や知識の貧困も要因として複雑に絡み合っています。多様な支援のあり方から、貧困の連鎖を断ちきり、だれでも希望を持って生きていくために、今「私」に出来ることは何か考えます。

分科会10 国際社会 【ジョイナス 大研修室】

違いを超えて、生き方を選択できる地域づくり

～多様性を認めた先にあるもの～

社会のグローバル化に伴い、地方においても全ての人々が違いを超えて一人ひとりを認めあう地域づくりが大切です。複数の文化と言葉を持つ人たちとともに、地域の一員として生活の場を持つことや能力を発揮できる環境づくりなどについて、多面的な視野を持って話し合います。

以上

2日目 10月29日（午後の部）

アトラクション：民謡

分科会報告：【秋田県民会館】

コーディネーター：小松田義貞

日本女性会議2016秋田実行委員会副会長

秋田県立大学総合科学教育センター准教授



シンポジウム

秋田発「ケアリング（気遣いあう）」社会をめざして

～生活の場から「多様性」を考えよう～

全ての人々が自分らしく生き、暮らすことができる社会には、「自分も大切、あなたも大切」を基本とした行動と「あなたの主張もきちんと聞きます、私も自分の考えをしっかりと伝えます」というコミュニケーション力が求められます。

全国の中でも人口減少、高齢化が進んでいる秋田から、幸せで豊かな社会を築いていくためには、多様性を尊重し、気遣いあう社会を作っていくことが大切であることを身近な取り組みなどを交えて発信していきます。

コーディネーター：中村 順子

日本女性会議2016秋田実行委員会委員長

秋田大学大学院医学系研究科地域生活支援看護学講座教授

シンポジスト：秋山 正子

株式会社ケアーズ 白十字訪問看護ステーション統括所長
NPO 法人 白十字在宅ボランティアの会理事長

シンポジスト：菊池 まゆみ (20 ページ～参照)

秋田県藤里町社会福祉協議会会長
社会福祉士、精神保健福祉士、主任介護支援専門員

シンポジスト：安藤 大輔

株式会社安藤醸造代表取締役社長
一般社団法人角館町観光協会代表理事



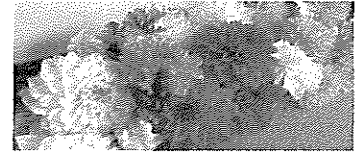
閉会式：【秋田県民会館】

あいさつ：秋田市長 穂積 志

次年度開催地メッセージ：北海道苫小牧市

大会宣言：実行委員会委員長 中村 順子

日本女性会議 2016 秋田 祝辞
内閣府男女共同参画局長 武川 恵子（たけがわ けいこ）



第 33 会大会として、秋田市において「日本女性会議 2016 秋田」が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、将来に夢や希望を持ち、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを進める上で必要不可欠です。

我が国最大の潜在力である「女性の力」の発揮は、企業活動、行政、地域社会等の現場に多様な視点や創意工夫をもたらすとともに、社会の様々な課題の解決を主導する人材の層を厚くし、女性のみならず、すべての人にとって暮らしやすい社会づくりにつながります。

政府はすべての女性が、自らの希望に応じ、個性と能力を十分に発揮できる社会の実現に向け、様々な取り組みを進めています。

昨年 12 月には、第 4 次男女共同参画基本計画を閣議決定し、男女がともに暮らしやすい社会を実現するため、男性中心の働き方を前提とする労働慣行等の変革に取り組むとともに、指導的地位に就く女性の人材層の拡充を含めた女性の参画拡大等の取り組みを重点的に推進することといたしました。

また、本年 4 月には、女性活躍推進のためのメインエンジンともいふべき「女性活躍推進法」が完全施行されました。女性活躍推進法の着実な施行により、民間企業や地方公共団体・国における女性の積極的な採用・登用や、将来指導的地位に登用される女性の候補者を増やす取り組みを進めてまいります。特にこの法律に基づく取り組みを進めるためのインセンティブとして、「えるぼし認定」等を受けた企業を国の調達において加点評価する取組を今年度から実施することとしており、この取組の下で行われる国の調達の事業規模は、段階的に約 5 兆円程度となる見込み。

この秋田大会では、「みつめて みとめて あなたと私～多様性（ダイバーシティ）とは～」を大会テーマとして、幸せで豊かな社会を築いていくためには、多様性を尊重し、気遣い合う社会を作っていくことがたいせつであることを、身近な取組などを交えて発信していくと伺っております。

全国からの参加を得て、多くの方が学び、交流し、その成果を各地域に持ち帰り、身近な暮らしの場である地域における男女共同参画・女性活躍の推進に役立てていただくことを期待しております。

最後に、「日本女性会議 2016 秋田」実行委員会を始めとする皆様方の御尽力に心から敬意を表しますとともに、お集まりの皆さまの一層のご活躍、ご健勝を祈念いたします。